

北友会 会報

北九州市立大学同窓会会報

2018年

平成30年
3月24日発行

卒業祝賀号

校歌

作詞 遠丸 立

作曲 山浦 茂人

一 見よ青嵐の足立山 ゆるがめ姿永久に

天翔る理想の翼 吾等行く 大愛

あゝ北方の学舎 若人の命 雲と展ぶ

二 真澄の空に陽炎の 緑の大地 鎮西に

燦たり真理の炬火 吾等行く 純情

あゝ北方の学舎 学園の光 火穂と燃ゆ

清き流れや紫の 水はるかなる玄海に

澎湃と文化の潮 吾等行く 清新

あゝ北方の学舎 創造の力 華と咲く

四 いま先人の跡を踏み 未来を拓く研學に

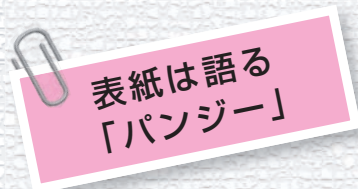
あゝひびきのの学舎 吾等行く 深遠

五 掲げし理想胸に抱き 躍進の夢の 永遠に栄ゆ

細爽と羽搏きゆかむ 世界を望む大海に

あゝひびきのの学舎 吾等行く 誠実

燦たる希望の わが母校



新たな世界に 夢と希望を抱いて ～失敗を恐れず、成長への糧に～



北九州市立大学同窓会
会長 善 正善^{ぜんただよし}
(昭和47年・経営学科卒)

校歌が刻まれた
真新しい碑の前で、
パンジーが揺れている。
「天翔る理想の翼」(一番)で
「颯爽と羽搏きゆかむ」(五番)。
胸に秘めた若々しい、
真っすぐな思い。
(舞い降りた地で咲けばいい)
碑の前に行く君にも
校歌を口ずさむ時があるだろう。
あの日と仲間とを思い出すのは、
そんな時だ。
「メモリー」の花言葉を持って、
あるものは梢の先を見つめ、
またあるものは雲を眺めて、
パンジーが風に揺れている。

北方・ひびきの両キャンパスでの修学を終え、新たな世界へ巣立っていく皆さん、卒業おめでとうございます。充実した学生生活を過ごすことができましたか？

大学院に残って専門分野の見識を高める人、就職して社会での活躍を目指す人、資格を取得して事業を立ち上げる人、それぞれに夢を膨らませながら期待と不安を抱いてスタートラインに立っていることと思います。

そこには学生時代とは違った厳しい現実が待っています。就職した多くの学生が「こんなはずではなかった」という現実です。私自身の経験談になりますが、企業を業種・職種で選別し、企業説明会や会社案内で絞り込み、企業訪問まで体験したうえで採用面接に臨んでも分からない部分が多くありました。イメージした自分の将来像と現実を置いた時に違いを感じました。北九大の先輩が多く居ることも知らず、先輩に企業の実態や仕事の内容や大変な部分などをしっかり聞いておけばよかったと思いました。近年、慣れない仕事、失敗の連続で入社まもなく離職や転職していく若者が増えています。1年、2年で企業の実態を理解することはできません。少なくとも3年は勤めてみることをアドバイスします。また、失敗することを恐れていては成長することはありません。失敗せずに順風満帆に進んだ人ほど、大きな失敗に遭遇した時に立ち直ることが出来ないほどのダメージを受けます。失敗を糧に成長し大きく羽ばたいてほしいと期待します。

本学同窓生は全国に約6万人を輩出しています。多くの企業にも先輩が活躍しています。就職した企業で北九大卒業生ということをアピールして下さい。同窓生がいるかもしれません。同窓会は全国に48支部あり、本誌巻末に支部の一覧が掲載されています。該当の支部に連絡して支部行事に気軽に足を運んでください。支部毎にいろいろなイベントを行っています。きっと温かく迎えられ、いろいろな相談にものってくれるはずです。北九大同窓会の絆は必ずあなたにとってプラスになります。

大学同窓会では学生支援の一環として、OBの勤務している企業をデータ化し、就職支援室やキャリアセンターとの連携を図りながら就職支援に繋げていくことを進めています。今後皆さんのような若い同窓生の意見を反映して、同窓の絆を一緒に築いていきましょう。

同窓会・後援会による寄贈

「校歌碑」(北方・ひびきのキャンパス)・「時計塔」(ひびきのキャンパス)を寄贈



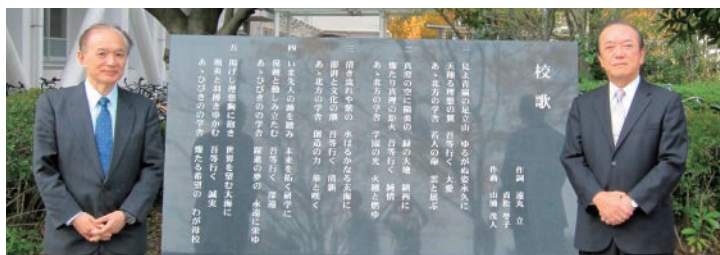
ひびきのキャンパスでの贈呈式・除幕式に出席した本部役員と評議員



雨の中、謝辞を述べる梶原昭博副学長



ひびきのキャンパスで挨拶する善正善同窓会会長



(上)ひびきのでの除幕式 (下)北方キャンパスに贈った校歌碑を挟んで松尾太加志学長(左)と善会長



ひびきのキャンパスに贈った時計塔



校歌碑などの贈呈式に出席した評議員たち



校歌の由来を記した銘板

クローズアップ 先輩



岩元美智彦氏の講演

みなさんの先輩(O・B・O・G)は、国内外のさまざまな分野の第一線で活躍している人や、その経験を持っている人がたくさんいます。日本環境設計株式会社の代表取締役会長・岩元美智彦さんもその一人です。資源が循環する社会づくりを目指し、究極のリサイクル技術を開発し、多くの企業とともに不用品の回収→再生→商品化→販売→回収というリサイクルの統一化に取り組んでいます。その技術と取り組みは世界のナンバーワン、オンリーワンで、2017年には日本経済新聞社の「次代をつくる100人」の第一位に選ばれています。以下は、岩元さんが同窓会総会で行った記念講演会のダイジェストです。ぜひご一読ください。

日本環境設計株式会社代表取締役会長・岩元美智彦氏の特別講演「今いる学舎で輝くために～掲げし理想胸に抱き、未来を切り開く～」が、第67回総会終了後の午前11時過ぎから、リーガロイヤルホテル小倉3階で開かれた。

岩元氏は母校商学部(現・経済学部)卒。在学中に見た映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」でゴミを燃料に走るタイムマシン「デロリアン」を見たこと、卒業後に入社した繊維商社でリサイクルに深くかかわったことから、会社設立後は資源が循環する社会づくりを目指して、究極的ともいえるさまざまなリサイクル技術を開発。回収・流通のエコシステムを構築した。日経ビジネスが選んだ「次代を創る100人」にトップで選ばれた岩元氏の話に、同窓生たちは大きな驚きと感動を覚えた。

岩元氏は講演で、実際に「デロリアン」を購入して日本に運び、2015年10月21日に、回収した衣料品から作りだしたバイオ燃料で走らせることに成功したことから話を始めた。

2007年に日本環境設計を設立。翌年には衣料品の綿繊維(セルロース)を分解してバイオ燃料(バイオエタノール)をつくる技術、

2015年にはポリエステル繊維を劣化させることなく再生資源に生まれ変わらせる技術を、相次いで発表した。

「衣類の90%以上はゴミとして燃やされている。しかし、衣料は特殊な酵素の働きで糖に変換でき、それからバイオエタノールをつくりだすことができる。車の燃料だけでなく、飛行機の燃料も作ることができる」

「ポリエステル繊維は化学処理すると、繊維を劣化させることなく、石油由来のポリエステルと品質的に変わらない再生資源として生まれ変わらせることができる。しかも1着の背広からはほぼ1着の背広を作ることができる。つまり服は服、玩具は玩具として半永久的に循環させていける1対1の水平リサイクルが可能だ」



回収した衣料を燃料にして走るデロリアンと岩元氏

日本環境設計(株)会長 岩元美智彦氏(S63・経済)



身ぶり手ぶりを交えて話す岩元氏



「デロリアンをバイオ燃料で走らせることに成功した」と言う岩元氏

なぜ劣化しないか。岩元氏は「衣類をモノとしてではなく元素として見て、それを再生しているからだ」と強調した。

携帯電話は、その内部に金や希少金属といった貴重金属が使われていて「都市鉱山」ともいわれる。「そのケータイ電話をリサイクルして、それらの貴重金属を有効利用している」と言い、「いまや資源は(地下に埋蔵されているものではなく、地上にあるものをリサイクルして循環させる)技術に変わった」。東京オリンピックの金メダルも携帯電話などの「地上資源」でつくるといふ。金メダルは6グラムの金で銀を覆ったもので、1つの金メダルに300個の携帯電話が必要だそうだ。

「石油などの地下資源の争奪戦を止めさせ、すべて地上資源で回る世の中にする。そこを目指している」。そのためにも、再生資源で作られた商品を消費者が買い、不要になったら小売店に設置した回収ボックスで

回収する、という次の循環のための商品作りが欠かせない。岩元氏はすでに、再生可能なポリエステルを使って生地を交換できる傘を開発、販売していると語った。

北九州市若松区では、「地上資源」をリサイクルさせるための工場を建設中で、工場が稼働すれば、この北九州市が「世界一、環境に！ 地球に！ 優しい製品の産地となる」と岩元氏。

まだ誰も足を踏み入れたことのない究極のリサイクル。そのビジョンと技術、取り組みは世界でナンバーワン、そしてオンリーワンである。

岩元氏と日本環境設計の挑戦は、母校の「フロンティア・スピリット」の果敢な発露ともいえ、講演会終了後、同窓生たちは「すごい技術」「眼からウロコが落ちた」「こんな同窓生がいたのか」などと、いつまでもほおを紅潮させながら声高に話していた。

岩元美智彦氏 Profile

1964年鹿児島県生まれ。1988(昭和63)年3月、北九州市立大学経済学部卒業。卒業後に就職した繊維商社では営業職に携わるなか、容器包装リサイクル法の制定を機に繊維リサイクルに深く携わる。2007年1月、現取締役社長の高尾正樹とともに日本環境設計を設立。資源が循環する社会づくりを目指し、リサイクルの技術開発だけではなく、メーカーや小売店など多業種の企業とともにリサイクルの統一化に取り組む。2015年アショカ・フェローに選出。EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2015ジャパン チャレンジング・スピリット部門大賞受賞、Japan Venture Awards 2017中小企業庁長官賞受賞。著書『捨てない未来』はこのビジネスから生まれる(ダイヤモンド社)。「都市鉱山と言われるケータイ電話のリサイクルを運営し、貴重金属を有効的に資源活用しています」



総会・懇親会

—あの目へ還ろう 仲間と共に—



笑顔がはじけた懇親会

見開きページで紹介した上の写真は、2017年11月5日に小倉北区のホテルで開いた同窓会の第67回総会・懇親会でのスナップショットです。全国から集まった400人を超すOBやOGたちの笑顔の数々。星霜を重ねた人も若い人も、級友や先輩、後輩との年に一度の再会を心から喜び、楽しんでいるのが分かります。

同窓会は、「楽しい」、「役に立つ」、「未来志向」を合言葉に、年間を通して、学生会員の皆さんの支援をはじめ、さまざまな活動を行っています。皆さんとはこれから長い交流が続きます。そのために、まずは「同窓会」を知っていただこうと思います。相手を全く知らないうちは交流など生まれませんし、深まりもしません。そこで、ごく簡単に同窓会の自己紹介をします。

全国に48支部、多彩な活動

同窓会は、本部と、北海道から沖縄まで国内に48の支

部とがあります。北九州市立大学は毎年、中国・大連で入試を行っていて、その折にかつての留学生たちが集まり、大連を訪れた先生たちを囲んで同窓会を開いていますし、上海でも支部結成に向けた動きが熱を帯びてきています。

各支部の会員数はまちまちですが、支部長を中心に、支部を運営する役員がいて、1年に1回、あるいは2年に1回、支部総会・懇親会を開いています。また、会員同士の親睦を図るために、毎月の例会や、多彩なイベント（例えば、バスハイク、リング狩り、月見、花見、歴史・名所散策、ボウリング、ゴルフ、野球・サッカー観戦…など）を行ったり、女性会員だけの集い、若者の会（アンダー40）、クラス会、サークルOB会を開いたりしています。

人的ネットワークは最大の財産

同窓会には、さまざまな職業の第一線で活躍している会員や、活躍した経験を持つ会員の、膨大な人的ネッ



トワークがあります。これが同窓会の最大の財産であり、最大の強みです。ですから、皆さんが、就職して仕事をする市や町にある同窓会支部の活動に参加することは、ある意味、異業種交流になり、自分の仕事に何らかのプラスをもたらす可能性もあるのです。皆さんの同窓会活動への参加を熱望しています。

現役学生とOB・OGのコラボ

さて、写真は第67回総会・懇親会です。これは、支部が行うものとは別に、総会・懇親会の開催回数の末尾数字「7」に合わせ、卒業年の末尾が「7」、つまり昭和47、57、平成7、17年のOB・OGと本部役員でつくる実行委員会が年初から準備し、開いた同窓会全体の総会・懇親会です。テーマを決め、記念講演をしていただく方を選び、アトラクションの演目(67回では、学生会員であるチアリーダー部と応援団、ひびきのダンスチーム、八幡西区の自治区会の「ひょっこ踊り」)を決めて、それぞれ出演依頼をし、提供する料理をホテル側と打ち合

わせ、福引抽選会の景品を準備し…。多くの課題を少ない時間で一つずつ解決し、開催したのです。

総会・懇親会には学生団体の代表や、同窓会からの奨学金受給者に選ばれた学生会員も招待し、多くの学生会員には来場者のさばきや福引抽選の景品渡しなどを手伝っていただきました。毎年のことですが、懇親会は昨年も学生会員とOB・OGとが一体となって運営したのです(反省会も一緒です)。

参加者のその評価は——。会場を彩った多くの笑顔が物語ってくれています。

「楽しいことを真面目に」

同窓会は実際に活動する場合、「楽しいことを真面目に、まじめなことを楽しく」行っています。もちろん、「真面目なことに真面目に」取り組んで知る場面も決して少なくありません。ホント、たびたびです。

Campus memories

入学式



4
APR

5
MAY

6
JUN

7
JUL

8
AUG

9
SEP

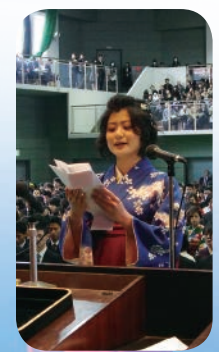
ひびきのキャンパス 大学祭「響嵐祭」



■ スポーツフェスタ



■ 学位授与式



10
OCT

11
NOV

12
DEC

1
JAN

2
FEB

3
MAR

■ 北方キャンパス 大学祭「青嵐祭」



楽しくやっています——女性の会

福岡支部

あざみ会



素敵な同窓生との出会いに感謝

神奈川支部

ひまわりの会



おいしい料理と楽しいおしゃべりに満足

北九州ひまわりの会



バレーストレッチで肩こりも軽くなった参加者

中間・遠賀支部

女性の会



初めての会合

千葉支部

北葉ひまわりの会



親近感をいっそう深めた参加者

大分支部

女性の会



夢は大きく。発足相談懇親に集まりました

広島支部

野の花会



ちょっと気どって、ハイ、ポーズ

熊本支部

りんどうの会



ほっとしたひとときでした

関西支部

コスモス会



新しい企画に集まった「いつもの顔」

若松支部

女性の会



会よ、大きく育って

待ってます——OB会・クラス会

若鯨(しゃち)会 中京支部



左より丸山・森・小林・伊藤くんです。

中部地方の若手で作る若鯨会は平成29年11月11日(土)、名古屋市の浩養園で懇親会を開きました。4人が参加、自分の仕事や生活環境、北九州の話題を肴に大いに盛り上がり、ジンギスカンの食べ飲み放題を堪能した。

今回のメンバーは今後、他の同窓会関係のイベントにも参加したいと考えており、若鯨会は今後も若手の同窓生に、同窓会の楽しさを伝える場になりたいと思っています。同窓生の皆さん、中京支部は来年も若手だけの企画を考えていますので、ぜひご参加をお願いします。

この懇親会への多くの援助、ありがとうございました。

伊藤勇基(H21・国際環境)

中国大連同窓会



高先生(前列中央)を囲んで

本学国際環境工学研究科の入試が中国・大連市で行われるのに合わせ、2007年頃から毎年、大連市で、ひびきのキャンパスのOB・OGを中心に「大連同窓会」が開かれています。かつての指導教員が訪大するとあって、遼寧省や大連市出身の学生だけでなく、遼寧省以外の卒業生も元気な顔を見せてくれています。

2017年も12月10日の夕刻、氷点下5度という寒い中、OB・OG28人とその友人達が、入試のために大連を訪れた同工学部・研究科の教職員11人を迎えて「大連同窓会」を開催、一年ぶりの再会を喜び合いました。

参加者からは「楽しかった!」「来てよかった!」との声も飛び出し、笑顔が溢れる同窓会となりました。

高偉俊

北九大縁活 宮崎支部



フェイスブックで集まったよ

11月25日(土)宮崎市内のボウリング場で第3回の自主的活動「縁活」を実施しました。初めてのボウリングでしたが、多くの方にご参加いただきました。

ボウリングは個人戦とチーム戦で行いました。ストライクやスペアが決まるたびに各レーンで大きな声が響き渡りました。個人戦の優勝は、下登さん(H14・法律)と福岡支部から参加いただいた忽那さん(H10・経情)が若手を抑えて見事に優勝しました。

ボウリングで盛り上がった後は、2階にある宴会場へ移動して懇親会。ボウリングで懇親が深まったためか、第3回の開催になり、顔見知りの方が増えたためか、大いに盛り上がった懇親会でした。あっという間に時間が過ぎ、最後は一番若手の松尾さん(H28・経情)が締めて終了しました。

今回も多くの縁が結ばれました。会の様子は「フェイスブック北九大縁活」で掲載していますので、ご覧ください。来年はさらに多くの方と出会えることを楽しみにしています。

稲森之大(H10・経済)

上海OB会



会報を手にする上海OB会の出席者

母校の卒業生が各方面で活躍している中国最大の都市・上海で、同窓会の上海支部設立に向けた動きが熱を帯びてきました。

活動の継続性を第一に考え、駐在員や上海での起業家、現地採用社員をメンバーに加えることにしました。支部設立メンバーはわずか5人ですが、すでに卒業生や中国人留学生などをリストアップ、会員誘致活動を始めました。北九州市上海事務所や「ちゃちゃ会」(上海における北九州市の会)の協力もいただきながら、来年早い時期にまず10人の会員を集め、その後会の拡大を図っていく計画です。

大学事務局とも相談のうえ、上海に留学中の現役大学生たちとの交流会開催も検討しています。慣れない土地での生活サポートや就職・人生相談など、OBとして現役組にアドバイスとエールを贈りたいと考えています。併せて、活動を通じて、日中間の交流促進と母校の発展に寄与したいと考えております。

浮田真吾(S59・法律)

お気軽にご参加を—支部総会と親睦会場

戸畑支部 戸畑中本町「焼とりしげ」 平成29年10月15日



家庭的な雰囲気の中で、参加者の集合写真

沖縄支部 イタリア料理店「バラック」 平成29年9月14日



多くの若者の参加で盛り上がった久々の総会

岡山県支部 アークホテル岡山 平成29年9月3日



支部創立50周年。節目の総会に参加した仲間たち

広島支部 広島グランドインテリジェントホテル 平成29年6月18日



和やかな表情で写真にうつる広島支部の会員たち

各支部の親睦会場 最寄りの会合に気軽に参加して「同窓の絆」交流の輪を広げてください。

支部	会名	場所	住所・電話	時間	会費
北海道	三木会 (第三木曜日)	スナッポ ボンボンミー	札幌市中央区南5条西3丁目仲通 グランド太陽ビル7階 (☎011-512-2855)	19:00～	2,000円～3,000円
千葉	千葉二水会 (奇数月第二水曜日)	日本海庄 船橋南口店	船橋市本町1-3-1 船橋Faceビル地下1F (☎047-421-4201)	18:00～	3,000円
関東	三水会	「さがみ」 新有楽町ビル店	東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル地下1階 (☎03-3216-4624)	18:00～21:00	男性4,500円・女性3,000円程度 (★平成15年卒以降は男女とも割引)
中京	二火会 (2・4・6・8・10月開催)	さかなや道場 錦三丁目店	名古屋市中区錦3-18-25 ホテルランドマーク名古屋B1 (☎052-656-3227)	18:30～	約3,000円
関西	なにわ二火会	新大阪ワシントン ホテル1Fパリ	大阪市淀川区西中島5-5-15 (☎06-6308-8701)	19:00～21:00	3,500円
兵庫	三金会 (第三金曜日)	Italian Bar 「BarS' aléバルザル」	神戸市中央区北長狭通3-31-91 (☎078-391-4136)	18:00～20:00	3,500円
岡山県	三木会悠々 (第三木曜日)	瀬戸内料理 「飛鳥(あすか)」	岡山市駅元町30-10 (岡山駅西口) (☎086-252-4151)	19:00～21:00	男性4,000円・女性3,000円
福山	支部月例会 (第一土曜日)	ベネフィットホテル	福山市霞町2丁目5-7 (☎084-924-6280)	12:00～14:00	昼食代(千円以内)
広島	三水会	味楽	広島市中区紙屋町14-25 中国飯店の右2軒隣 2階 (☎082-247-9350)	18:30～20:30	3,000円
防府	三水会	ボンバーズ駅南店	防府市駅南町7-34 (☎0835-38-2575)	18:00～	約3,000円
下関	三水会 (毎月第三水曜日)	ピアホール伊喜伊喜	下関市竹崎町4-4-10 下関大丸7F (☎083-233-3333)	18:00～	約3,000円
小倉	二水会	花葡萄	小倉北区京町3-1-1コレット12F (☎093-514-1460)	19:00～21:00	約4,000円
八幡	やはた北友会 (偶数月第四木曜日)	井筒屋黒崎店7階 レストラン「マーガレット」	八幡西区黒崎1-1-1 (☎093-622-3331)	18:30～20:00	3,000円
福岡	一木会	権兵衛館大名	福岡市中央区大名2-1-43 (☎092-714-2296)	18:30～	男性3,000円・女性2,000円
豊前・築上	三木会 (奇数月第三木曜日)	天華一品(居酒屋)	豊前市宇島駅前 (☎0979-83-3507)	18:30～	3,000円
佐賀	三土会 (第三土曜日)	登紀	佐賀市神野東3-2-10 JR佐賀駅北口九電佐賀支店隣 (☎0952-31-6127)	18:30～	2,000円～3,000円
熊本	二金会	ピアレストラン 麦菜館(ばくさいかん)	熊本市中央区手取本町6-1 鶴屋立体駐車場一階 (☎096-327-3727)	19:00～21:00	男性3,100円・女性2,500円
大分	SST (青嵐第二火会)	ほろにが	大分市府内町3-8-23 (☎097-532-0363)	19:00～	約3,000円

(参加等のお問い合わせについては、12ページに掲載の支部長へご連絡ください)

北九州市立大学校歌

作詞 遠丸 立 (本名 進 隆)
 作曲 貞松 瑩子
 山浦 茂人

一 見よ青風の足立山

ゆるがぬ姿永久に

天翔る理想の翼

吾等行く 大愛

あ、北方の学舎

若人の命 雲と展ぶ

二 真澄の空に陽炎の

緑の大地 鎮西に

燦たり真理の炬火

吾等行く 純情

あ、北方の学舎

学園の光 火穂と燃ゆ

三 清き流れや紫の

水はるかなる玄海に

澎湃と文化の潮

吾等行く 清新

あ、北方の学舎

創造の力 華と咲く

四 いま先人の跡を踏み

未来を拓く研学に

澁刺と勤しみ立たむ

吾等行く 深遠

あ、ひびきのの学舎

躍進の夢の 永遠に栄ゆ

五 掲げし理想胸に抱き

世界を望む大海に

颯爽と羽搏きゆかむ

吾等行く 誠実

あ、ひびきのの学舎

燦たる希望の わが母校



逍遙歌

作詞 石田謙一郎
 作曲 椎木 福蔵

(一) 靡ろの空は明けゆきて

桜花は吹雪と散り映ゆる

足立が丘の春の日や

青春の意気溢れては

ともに美酒を汲まんかな

(二) さまよい来れば夕風の

硯の海に沈む日や

耀ふ色はくれないに

金波銀波を眺むれば

あ、玄海は遙けしや

(三) はろばろ続く筑紫路の

山脈すでに秋たけて

紅葉の森に分け入れば

逍遙の子が口誦む

歌は雲間に消ゆるかな

(五) 心の宿のさびしらに

あくが来れば十六夜の

月光あわく紫の

川面に照りて行く春の

うらみは水と流るかな

(六) あ、白鳥よ汝が鳴けば

青き愁はわだつみの

底ひの方ゆ湧き出でて

胸に宿れば一握の

砂も涙をさそうかな

(七) 星霜こゝに幾とせぞ

栄枯の夢も儚なしや

秋草しげき勝山の

城の老樹も色あせて

実に盛衰は理か

(四) 三萩野原に氷雨して

凍れる道を辿るとき

北斗の空を仰いで

夢は通いて南の

十字の星を思ふかな

(八) 四年の春はめぐりたり

四年の秋は去りゆきぬ

来し方行末ながめては

尽きぬ名残に涙する

あ、青春の情かな

本部役員名簿(平成30年3月1日現在)

役 職 名	氏 名	卒年・学科	所属支部
相 談 役	た 田 村 のぶ お 雄	S42・商	福岡
会 長	善 善 ただ 正 善	S47・経営	八幡
幹 事 長	すず 鈴 木 まさ 雅 子	S52・経済	八幡
副 幹 事 長	いし 石 まつ 松 ひで 秀 喜	S53・経営	八幡
副 幹 事 長	くら 藏 その 園 とお 徹	S62/H26・法律/院	戸畑
副会長(総務・企画)	の 野 た 田 えい 栄 市	S47・中国	八幡
幹事(総務・企画)	しげ 重 とめ 留 まさ 正 ひろ 弘	S40・商	小倉
幹事(総務・企画)兼事務局長	江 江 口 たく 卓 男	S48・米英	中間・遠賀
幹事(総務・企画)	くろ 黒 つち 土 こう 耕 吉	S53・政治	小倉
幹事(総務・企画)	いま 今 いづみ 泉 たけし 健	H16/23・法律/院	八幡
副会長(組織対策)	やなぎ 柳 きく 喜 久 子	S48・英文	戸畑
幹事(組織対策)	せい 清 け 家 こう 幸 三 ぞう 二	S46・経済	小倉
幹事(組織対策)	すみ 隅 かわ 川 とも 智 ひろ 宏	H1・経済	小倉

役 職 名	氏 名	卒年・学科	所属支部
幹事(組織対策)	やま 山 べ 邊 ゆ き こ	H2・英米	小倉
幹事(組織対策)	た 田 嶋 美 保	H8・経営	小倉
幹事(組織対策)	まつ 松 なみ 波 いさお 勲	H17/19/22 情報メディア/院	若松
幹事(組織対策)	さね 実 ふじ 藤 やす 康 ふみ 文	H21・経済	八幡
副会長(広報・情報)	や 屋 ち 地 きみ 公 かつ 克	S43・米英	八幡
幹事(広報・情報)	はやし 林 ひろ 寛 ゆき 之	H10・経済	門司
幹事(広報・情報)	た 田 なか 中 み 美 さと 里	H12・経情	田川
幹事(広報・情報)	こ 小 ばやし 林 まゆ 真 由 美	H19/24・文/院	直鞍
幹事(財務・会計)	ふく 福 だ 田 のぶ 信 お 夫	S44・経営	小倉
幹事(財務・会計)	かわ 河 きた 北 せい 聖 いち 一	S53・法律	福岡
監 査	や 八 尋 しげ 重 はる 治	S45・経営	小倉
監 査	やま 山 もと 本 まさ 雅 お 男	S49・経済	行橋・京都

支部と支部長(平成30年3月1日現在)

支 部	支 部 長	卒年・学科	電 話
北 海 道	ため 為 ちか 近 ひさ 久 はる 治	S37・米英	☎(011)853-5410
北 陸	むら 村 た 田 じゅん 淳	S35・米英	☎(0762)42-0444
神 奈 川	かん 神 だき 崎 ひで 英 あき 昭	S41・米英	☎(046)836-4570
千 葉	す 須 古 まさ 正 つね 恒	S44・経営	☎(047)471-5946
関 東	しら 白 いし 石 やす 泰 ひこ 彦	S44・経営	☎(03)3960-6353
静 岡	さか 坂 下 ひろ 博 し 司	S50・経営	☎(0547)59-2919
中 京	おお 大 さこ 迫 し め 美	S50・経営	☎(0561)53-0977
関 西	よし 吉 もと 元 勝 三 郎	S42・商	☎(075)392-7837
和 歌 山	あり 有 まつ 松 とし 敏 ゆき 幸	S36・米英	☎(0734)45-8034
兵 庫	な 名 ごし 越 ひで 英 あき 昭	S37・米英	☎(078)792-6130
島 根	いま 今 おか 岡 稔 稔	S51・経営	☎(0853)43-2774
岡 山 県	なか 中 にし 西 よし 好 あき 昭	S47・経営	☎(086)446-4881
福 山	かい 開 ばら 原 かず 算 ひこ 彦	S44・中国	☎(084)951-0803
広 島	おき 沖 た 田 やす 康 ひこ 尚	S40・米英	☎(0829)31-4800
山口県東部	かし 桎 べ 部 きよ 清 と 人	S45・経済	☎(0834)31-0436
防 府	はま 濱 じつ 實 お 夫	S43・商	☎(0835)21-3469
下 関	よし 吉 むら 村 和 和	S42・米英	☎(083)287-2258
山 口	すぎ 杉 やま 山 あき 昭 郎	S38・米英	☎(083)928-0614
宇 部	いん 引 どう 頭 じゅん 遵 次 郎	S33・米英	☎(0836)74-8061
萩・長門・美祢	つき 月 なり 成 しょう 造 庄	S56・米英	☎(0838)25-6543
香 川	く 久 め 米 譲 三 郎	S53・英文	☎(087)942-3920
徳 島	た 田 なか 中 まさ 学	S46・米英	☎(088)669-0707
高 知	た 田 むら 村 あき 昭 お 夫	S40・中国	☎(088)846-9002
愛 媛	まつ 松 た 田 たか 孝 あき 雄	S53・国文	☎(090)3788-1401
門 司	もり 森 した 下 ひろ 博 し 司	S47・中国	☎(093)372-2103
小 倉	しん 進 あき 昭 ひろ 紘	S40・商	☎(093)472-5659
八 幡	きた 北 やま 山 きよ 清 たね 種	S36・米英	☎(093)681-3807
戸 畑	おお 大 の 野 まゆ 真 由 美	S49・米英	☎(093)882-4995

支 部	支 部 長	卒年・学科	電 話
若 松	よし 吉 はら 原 あき 昭 ひこ 彦	S57・経済	☎(090)5080-0258
中間・遠賀	きし 岸 の 野 とし 利 ゆき 之	S34・米英	☎(093)201-4390
福 岡	いわ 岩 さき 崎 むつ 六 あき 雄	S46・経営	☎(092)567-0795
嘉 飯	こう 上 たき 瀧 まさ 征 ひろ 博	S42・商	☎(0948)24-7430
直 鞍	あお 青 やぎ 柳 たけ 剛 き 機	S43・商	☎(0949)22-4806
田 川	ひら 平 まつ 松 憲 二 郎	S52・経済	☎(0947)44-3468
行橋・京都	い 伊 づか 塚 ひろ 弘	S44・商	☎(093)434-3563
豊前・築上	あな 穴 い 井 ひろ 弘	S33・商	☎(090)3660-9056
福岡県南	ひら 平 おか 岡 さん 三 こう 光	S40・米英	☎(0943)32-0403
佐 賀	もり 森 やま 山 まさ 正 たか 孝	S44・米英	☎(0954)66-3069
長 崎	つ 津 だ 田 ひろ 洋 明	S56・経営	☎(0956)33-3935
熊 本	いの 井 うえ 上 とし 俊 お 夫	S47・英文	☎(096)365-1259
大 分	ち 千 あや 綾 ほう 奉 ぶん 文	S43・商	☎(097)568-8829
中 津	きた 北 やま 山 かず 一 ひこ 彦	S44・商	☎(0979)52-3523
宇佐・高田	さか 坂 もと 本 せい 征 四 郎	S38・米英	☎(0978)38-1248
日田・玖珠	いの 井 うえ 上 ひろ 博 え 愛	S48・経営	☎(0973)29-2274
宮 崎	あり 有 むら 村 ふみ 文 のぶ 伸	S48・経営	☎(0985)52-2164
宮崎県北	たか 高 み 見 わ 和 嗣 郎	S50・経済	☎(0982)47-3318
鹿 児 島	かきの 柿 き 木 まさ 正 とし 敏	S47・国文	☎(099)294-3863
沖 縄	よし 吉 だ 田 かず 一 お 夫	S33・商	☎(098)859-0606

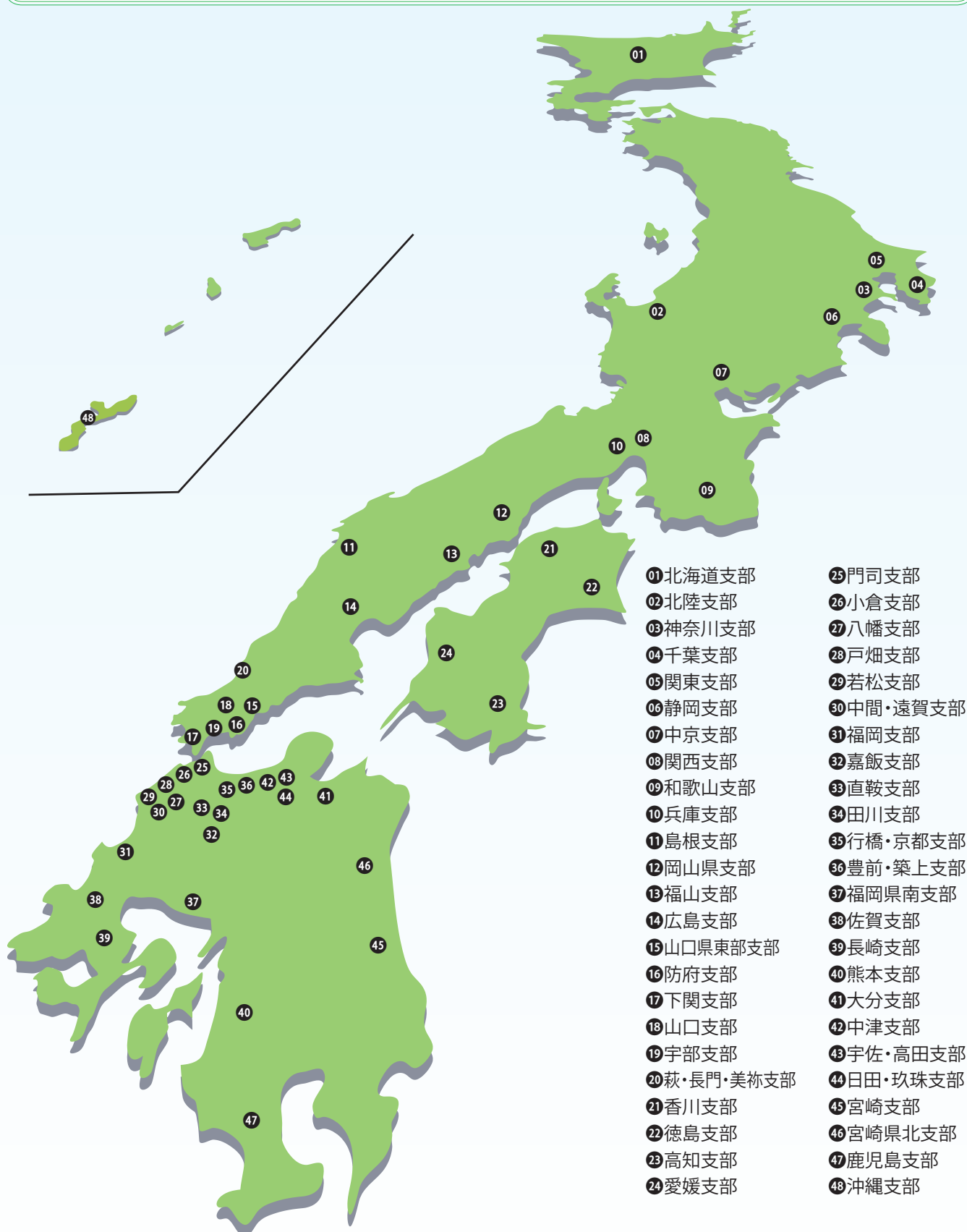
支部がない県の連絡先

県 名	連 絡 窓 口	卒年・学科	電 話
宮 城 県	の 野 ばやし 林 とお 徹	S49・経営	☎(090)3402-0906
山 形 県	もり 森 した 下 し 志 りょう 朗	S35・商	☎(0235)23-1362
山 梨 県	し 清 みず 水 恭 恭 すけ 輔	S35・商	☎(0551)25-3057
長 野 県	とも 友 やす 保 まさ 潤 いち 一	S57・経営	☎(0265)53-8438
鳥 取 県	また 又 の 野 し りょう 郎	H7・政治	☎(0859)27-0776

全国展開の同窓ネットワーク

母校の後輩励ます支援パワー

卒業後に新住所が定まった場合、あるいはその他の事情で転居された場合は、新しい居住地の支部長に連絡し、新天地の「同窓の輪」に加わってください。支部長や支部の同窓会員が良きアドバイザーになってくれます。また同窓会HPでも住所変更等ができます。支部長の住所や詳しい連絡先などが知りたい方は本部事務局にお問い合わせください。



ご卒業おめでとう返信待ってます!

A 同窓会オリジナル・クオカード



B 同窓会オリジナル・カードケース



北方とひびきのキャンパスでの勉学を終え、晴れの門出を迎えられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまで同窓会の学生会員だった皆さんは、これからは既卒の終身会員として60,000人の同窓生との絆を深めていただき、立派な社会人として各方面で活躍されんことを大いに期待しています。

北九州市立大学同窓会では、母校の近況や同窓会活動の状況などをお知らせする「北友会会報(年2回発行)」を会員の皆さんにお届けしていますが、会報を確実にお手元に届けられるようお届け先を登録いたしますので、お手数ですが同封のハガキでご回答いただきますようお願いいたします。

なお、ご回答いただいた方には、「同窓会オリジナル・クオカード」または「同窓会オリジナル・カードケース」のうちいずれか、お1人、1つ、ご希望の品を進呈いたします。

同窓会ホームページ・フェイスブックへご招待!!

同窓会の活動が一目でわかるホームページ。最新のニュースを満載してお待ちしています。

今日の楽しみ、明日への希望



北九州市立大学同窓会

検索

<http://www.kitakyu-dousoukai.com>



北九州市立大学同窓会

〒802-0841 北九州市小倉南区北方4-2-1 TEL(093)961-4719/FAX(093)963-5837
Email: jimukyoku@kitakyu-dousoukai.com